

別紙4 モニタリングレポートの様式例

令和元年度 指定管理者モニタリングレポート

1. 基本情報

施設名	美馬市道の駅地域振興施設(美馬市道の駅「みまの里」)
施設所在地	美馬市美馬町字願勝寺72番地
指定管理者名	株式会社 阿波食
評価期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
指定期間	平成31年4月1日～令和3年3月31日
所管課	経済建設部 農林課

2. 評価結果

項目	評価内容（市コメント）
①業務の履行状況	産地直売所及びフードコートにおける令和2年度の利用実績は、レジ通過者を来場者と数えた人数が累計で約16万人、売上額は約1.7億円となり、季節変動はあるものの開駅初年度から一定の売上を獲得している。また交流センターでは、観光情報や伝統技術の発信地として世界農業遺産や美馬和傘をはじめとした地域の伝統・文化資源のPR活動が継続的に行われている。
②サービスの質、独自採算事業	POS情報による消費動向の分析やSNS等を用いたニーズ調査が実施されており、サービス品質の向上と商品力の強化に向けて、登録出荷者への販売指導やスタッフ向けの研修（OJT等）を実施している。 自主事業については、生産者と連携した地域特産品のPRイベントや交流イベントが定期的で開催されており、産地直売所等への集客につながっている。
③サービス提供の継続性・安定性	管理運営体制は概ね事業計画書のとおり整備されている。 産地直売所で安定した売上を獲得しており、自主事業との相乗効果も発揮されているが、施設運営の健全性を高めていくためには、経費の最適化と売上拡大を図る取組が必要である。
総合評価	B 概ね業務水準に基づく適正な維持管理及び効率的な施設運営がなされている。

3. その他（今後の課題や改善に向けた取組み）

<p>施設の利用状況（来場者数・売上）は比較的安定しているが、今後も施設の持続性を確保していくためには、市と指定管理者が連携した売上増加のためのさらなる取組が不可欠であり、引き続き利用者ニーズに即した売場の創出と出荷者支援が必要である。また、産地直売所及びフードコートの商品力・訴求力を一層高めていくため、関係者と連携した六次産業化の推進やPR活動を継続して行う必要がある。</p>
